

番組審議会

第626回

開催日 平成31年4月15日(月)

■委員の出席

委員総数 10名

出席委員数 10名

出席者

委員長 音 好 宏

副委員長 中 江 有 里

委 員 石 田 衣 良 江 澤 佐知子

萱 野 稔 人 喜田村 洋 一

佐 藤 智 恵 藤 原 帰 一

水無田 気 流

尾 縣 貢 (レポート提出)

TBSテレビ 佐々木 社 長

國 分 常務取締役

伊佐野 取締役

合 田 編成局長

本 田 報道局長

志 賀 情報制作局長

荒 牧 情報制作局情報一部長

松 本 プロデューサー

藤 田 編成考査局長

鈴 木 編成考査局視聴者サービス部長

岩 村 番組審議会事務局長

■議事概要

(1) 審議事項

- 1) 「平成ニュース総決算！」3月28日(木)放送分について
- 2) その他

(2) 報告事項

- 1) 番組種別公表制度に基づく10月から3月までの
放送実績について

(3) 事務局報告事項

- 1) 視聴者からの声について
- 2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な発言】（「平成ニュース総決算！」について）

- 日本のジェンダーギャップが、なぜ世界で110位なのか。マドンナ旋風でも破れなかった日本の問題は何か、をもっと掘り下げてほしかった。そうすれば、今日の #Me Too運動から広がる問題まで行けたと思う。
- この30年間、国際社会が大きく動いたにもかかわらず、それらの報道は随分後ろに退いている印象だ。テレビ報道の中で外報が持つ意味がなくなって小さくなっている。スクープ映像で作る以上、無理もないかもしれないが、この番組が平成ニュース『総決算』と題されることに違和感を持つ視聴者はほとんどいないのではないかという気がしてしまう。
- 「リーマンショック」と「爆買い」を結びつけた点がよかった。リーマンショック時の大きな公共投資により、中国は世界第2位の経済大国になり、それが爆買いと結びつく。こういう見方を提示してくれると、非常にわかりやすくよかった。
- 記者が被弾した話題の中での「もう社員は戦場に行かなくなった」という発言は重要な問題提起だ。危険な場所に誰が行くのか、フリーランスが行くのか、報道を担っているのはどういう立場の誰なのか、ここに一言欲しかった。
- この30年が科学の進歩の年月であったことは示されたが、今後我々が科学

とともにどう歩むかというまとめ方があってもよかったように思う。

- 「地下鉄サリン事件」と「渋谷のハロウィーン騒動」を「防犯カメラ」というキーワードでつなぐのにはひっかかりを覚えた。並列させることにより、ニュースが矮小化するのではないか。世間に与えた衝撃度もまったく違うし、もっと正面から扱うべきだ。
- 池上さんにあまり頼らない番組づくりがよかった。TBSのスクープ映像が目玉なのだから、いっそTBSのアナウンサーが司会でもよかったのではないかな。
- もう一步の踏み込みが欲しい。例えば、監視カメラについてであれば、その活用状況だけでなく、プライバシー問題にも言及してほしいし、ドローンも、その便利さだけでなく軍事利用にも触れてほしい。
- TBSで昨年「池上彰と“女子会”」という番組があった。そこでの池上さんはちょっとたじたじになるような新しい面を見せていた。そのノウハウを活かす手もあったのではないかな。

* TBSでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。 (TBSテレビ番組審議会事務局)